

## 記入上の注意

この支給認定申請書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ蘭越町役場（施設（事業者）を経由して提出する場合は、入所を申し込んだ施設）に提出してください。なお、2人以上の児童の申請を行う場合は、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

### （表面）

- 1 「申請に係る児童名」の欄はふりがなを付し、「性別」の欄は該当するものを○で囲んでください。
- 2 「障害者手帳の有無」の欄は、申請児童に係る障害者手帳の有無について該当するものを○で囲み、障害者手帳の種類について該当するものを○で囲んでください。
- 3 「認定者番号」の欄は、申請児童が既に施設型給付費・地域型保育給付費の支給認定を受けている場合は、当該申請児童に係る認定者番号を記入してください。
- 4 保護者と申請に係る児童それぞれの個人番号（マイナンバー）を記載してください。
- 5 ①「世帯の状況」の欄は、申請児童本人以外の申請児童の両親（別居の場合は、「備考」欄に記入してください。）及び同居している親族等の全員について記入するとともに、「児童との続柄」等全てに記入してください。また、世帯員の中で申請児童の他に施設型給付費・地域型保育給付費の支給認定を受けている児童がいる場合は、当該児童に係る「認定者番号」を「備考」欄に記入してください。  
なお、利用料の決定のために必要な書類をあわせて添付していただく場合があります。

### （裏面）

- 6 「利用を希望する保育所名等」の欄は、希望する順位に従い施設（事業者）名を記入し、また、その施設（事業者）を希望する理由（例えば、既に兄弟が利用しているため、距離が近いこと、延長保育を利用できるため等）を記入してください。
- 7 「保育の実施を希望する期間」の欄は、小学校就学始期に達するまでのうち、施設（事業者）の利用を希望する期間を記入してください。（表面の「保育の希望の有無」の欄で「有」を○で囲んだ場合は、保育の実施が必要な理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。）
- 8 ③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の「保育の希望の有無」の欄で「有」を○で囲んだ場合に記入してください。
- 9 保育の認定基準は、次の表に掲げるような場合です。

#### 保育の認定基準

保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

- |             |   |
|-------------|---|
| (1) 就 労 等   | （家庭外労働）児童の保護者が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合<br>（家庭内労働）児童の保護者が家庭内において日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合          |
| (2) 妊娠・出産   | 児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合  |
| (3) 疾病・障害   | 児童の保護者が病気、負傷、心身に障害があったりするので、その児童の保育ができない場合  |
| (4) 介 護 等   | 児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障害のある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合 |
| (5) 災 害 復 旧 | 火災や、風水害や、地震などの不幸があり、その家庭を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合  |
| (6) 求 職 活 動 | 児童の親が求職活動（起業準備を含む）を行っているため、その児童の保育ができない場合   |
| (7) 就 学     | 児童の親が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）のため、その児童の保育ができない場合  |

- 10 ③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の①「世帯の状況」の欄に記入した児童の世帯員のうち、両親及び両親及び同居している両親以外の同居している親族等ごとに、児童を保育できない理由を8の表(1)～(7)のいずれの掲げる場合に該当するかを判断して、該当する全ての□にチェック（☑）し、かつ、その具体的な状況について、同欄に記入してください。なお、(1)～(7)の場合以外で児童を保育できない理由がある場合は「その他」にチェック（☑）し、内容を（ ）内に記入してください。また、「続柄」の欄の「父」及び「母」については、両親以外の同居している親族等がそれに該当する場合は「父」または「母」に斜線を引き、「備考」欄に該当する続柄を記入してください。  
※具体的な状況については、例えば、(1)に該当する場合は勤務先・就労時間・就労日数・勤務時間・経路・手段等、(2)では出産（予定）日や産後の母の状況等、(3)では傷病名や治療見込み期間等、(5)では災害の程度・復旧見込み期間等、(6)では求職活動状況等、(7)では就学先・就学期間・就学時間・就学日数等、その他に記載する場合には、具体的な内容を記入してください。

### （留意事項）

支給認定（保育の必要性の認定）及び施設（事業者）への入所については、

- ・ 保育の実施基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
- ・ 希望者が多数いるため希望する施設に入所できない場合
- ・ 保育の実施基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合がありますので、あらかじめご承知ください。